さくら

編集・発行　2023 年 6 月 1 日
神河中学校　ＰＴＡ文化・研修部

新年度を迎えて

神河中学校PTA会長　宮崎　亜也子

新年度を迎えまして、コロナ禍からも解放され通常通りの学校生活を取り戻しつつある1年になります。

最近では、分からない事があれば、優秀なAIが何でも答えてくれる、そんな世の中になりましたね。しかし、「子育て」というものは、何か決まった正解があり、調べれば正しい方法が示される様なものではないと私は思います。答え合わせのない「子育て」というものに、手探りですが、私なりに必死に取り組んでいきたいと思っています。

私はなにより、友達を大事にし、人の痛み気持ちが分かる子供達に成長してほしいと心から願います。子供は親の背中を見て育つといいますが、私の場合、子供達の成長と共に自分自身学ばせてもらう日々です。子供達が一生懸命勉強や部活に取り組み頑張っている姿を見て、親として自分自身が何が出来るのか、落ち込んでいる子供の姿を見て、どのような言葉をかければ良いのだろうかと思っていた時に、今回PTA会長のお話をいただきました。

このような形で、子供達の貴重な中学校生活に関われる事をとても幸せに感じます。楽しい思い出作りのお手伝いができたらいいなと思います。1年間よろしくお願いします。

↑1年1組↑

↓1年2組 ↓

「学ぶ」とは

神河中学校長　　古河　享正

この4月に開設された「姫路市立あかつき中学校（夜間中学）」に行ってきました。

1時間目の授業に間に合わすため17時に学校に到着しました。到着すると早速、校長先生が音楽室に案内してくださいました。教室に入ると既に10名程度の生徒の皆さんが着席されていました。最前列には白髪の70～80歳くらいのお年寄りの方々、後ろの方にはアジア系の外国人の方々。そして、授業開始の17時30分までには20歳代の若者や主婦らしき人、仕事を終えて急いで教室に入ってくる人で20名以上になっていました。

音楽の授業は、鈴を使って音符や休符の説明。さとう宗幸さん（歌手）が作詞・作曲した校歌の練習。各自の思い出の歌などの発表で、1時間が終了しました。

校長先生との話で特に印象に残ったことです。

「この学校の生徒は、親に行かされていては絶対に続かないです。」

「自分の意志で入学することが絶対条件です。」と言われていました。

<入学対象者>

入学する年の4月2日時点で 15 歳以上の人で、

①様々な理由で、義務教育を修了できなかった人。

②不登校や病気等により、ほとんど学校に通えなかった人。

※外国人の人も入学できます。姫路市外の人も入学できます。

<時間割>

17:25 ～ 17:30	ホームルーム
17:30 ～ 18:10	1時間目
18:10 ～ 18:40	給食
18:40 ～ 19:20	2時間目
19:25 ～ 20:05	3時間目
20:10 ～ 20:50	4時間目
20:50 ～	ホームルーム

それだからどうかはわかりませんが、「生徒の皆さんは、誰一人親の送迎はありません。一番遠い子は明石から、混雑する電車が苦手な子は加古川から自転車で来ています。」と言われていました。

この学校を訪問した翌週の神戸新聞に、たまたま「あかつき中学校」について掲載されていたので紹介します。

正平調

真新しい教室に夕闇が迫る。机を並べて座っているのは、白髪の男女や10代のネパール人女性たち。先生は教壇に立つ一人だけでなく、生徒たちのすぐ横や教室の後ろに何人もいる◆マッチ棒を並べて書いた計算式を、1本だけ動かして正しい式にする問題を考える。生徒が思い思いの答えを出す中、それぞれの先生はしゃがんで話しかけたり、教壇の先生に授業の進め方を提案したり◆ここは、4月に開校した姫路市立の夜間中学「あかつき中学校」。兵庫県内で4校目、播磨地域では初となる。市内外から通う24人は最年少が15歳、最高齢は89歳。2クラスに分かれて1日4時間学ぶ◆教える先生は、いずれも希望して集まった15人だ。今はできるだけ生徒と一緒に過ごし、学力や個性などの情報を共有する。男性教諭は言う。「子どもの授業では、反応がある程度予測できる。でもここでは思わぬ答えがあり、生徒と一緒に授業をつくる楽しさがある」◆給食を食べ終えた80歳の女性が「いろいろあって学べなかった」と話す。子育てを終え、親を介護して見送って。やり残したのが学校への通学だった。「分かることが増えると、日々が充実する」◆学びたい。教えたい。互いのひたむきな思いが、新たな学校を形づくっていく。　2023・5・2

夜間中学校は、「時代を映す鏡」と言われます。
私たちは、当たり前のように教育を受けて読み・書き・計算もある程度は自由にできます。一方で、様々な理由からそれらが不十分な状態で社会に暮らす人々がいることを実感するのがこの夜間中学校です。外国籍の人は全員、ネパールから日本にやってきたそうです。もちろん日本で働き、稼いだお金を祖国の家族に送金するためです。会話は英語。サポートの先生もついてくださいますが、母国語はネパール語など数多くの民族語があるそうです。教室の中の日本語は、聞き取りも書くことも難しそうです。私も英語で会話にチャレンジしましたが、半分くらいしかコミュニケーションできませんでした。日本で生きるために学んでいることに頭が下がります。
若い生徒の中には、中学校卒業まで学校に行けなかったので「学びなおし」のために来ている生徒も数人いることを教えてもらいました。また、結婚して子供を養っている主婦の中にも、義務教育を十分に受けられなかったためにココに来ている人もいるそうです。
80歳位のお年寄りの人が、音楽の授業中に言っておられました。
「三交代勤務の仕事が辛くて、そんな時には『人生劇場』を歌って自分を励ましていました。」と。きっと働くことが精一杯で、学校の勉強が十分に出来なかったんだろうな、と想像できました。
今回は、「学ぶ」ということの意味を考えさせられた訪問でした。
「学ぶ」とは、「誰かにさせられる」ものではないこと。
「学ぶ」とは、知らない世界に足を踏み入れること。出来ないことが出来るようになった時の喜びにあること。
「学ぶ」とは、生きること。自分が社会でよりよく生きていくために必要なもの。
夜間中学校には、このような純粋な学びである「学びの原点」があるように思えました。

新年度を迎えて

1学年主任　　久後　則彦

4月に入学してきた15回生も、中学校での生活が2か月過ぎようとしています。4月当初は緊張した面持ちで過ごしていましたが、最近では中学校生活にも慣れ、それぞれの生徒がいろいろな表情を見せてくれるようになりました。明るく、人懐っこい15回生の生徒たちの笑顔は、私たちに元気を与えてくれています。
ゴールデンウイークまでは比較的ゆったりとした生活でしたが、5月8日からは部活動が正式に始まり、最近では疲れが溜まってきている生徒もいます。とは言え、6月下旬から始まる中播総合体育大会に向けて、先輩たちとともに部活動に一生懸命取り組んでくれています。その姿をみると大変嬉しく思います。6月23日には壮行会が計画されており、3年生の先輩が最後の大会で力を発揮できるようにしっかりとエールを送ってほしいものです。
学習面については、中学校の勉強はまだ始まったばかりですが、これから次々と新しいことを学習し、覚えなければいけないことがどんどん増えていきます。6月19～21日には期末テスト（9教科）が実施されます。学習の力を定着させるためには、毎日の家庭学習が大切になってきます。3年後に希望の進路を実現させるためにも、今のうちに家庭学習習慣を身につけさせるようご支援をよろしくお願いします。
15回生の学年目標は「ともに伸びよう！」です。これから3年間この神河中学校で一緒に生活していきます。その間、いろいろな学校行事、学年行事があります。なかなか自分ひとりだけで成長するのは難しいです。しかし、様々な行事を通して、みんなで協力し、切磋琢磨し、ひとつのことを成し遂げる中で、段々と人として大きく成長していきます。3年後、この15回生が中学校を卒業するときに、どれだけ成長しているのかがとても楽しみです。「生徒のより良い成長を目指して」精一杯お子様と接していき、保護者の皆さまとともに力を合わせていければと考えています。これからもよろしくお願いします。

3年生になって

3年生になって、いろんなことに中学校最後という言葉がついてくるようになりました。
そんな中で私が一番頑張りたいのは、勉強と体育大会です。まず、勉強は1ヶ月に1回はテストがあるし、受験もあるから頑張りたいです。受験はもう経験するときがあんまりないと思うので全力で頑張りたいです。
体育大会は、中学生最後だし、最高学年になって3年生中心でダンスとか考えたりするので難しいと思うけど、1、2年生を引っ張っていけるようにしたいです。リレーもずっと今まで1位だったから最後も1位取りたいです。優勝して中学生のいい思い出にしたいです。
私は、1年生のときより、心が成長して、みんなに成長したなと言ってもらえるようになって卒業したいです。今からでも成長できると思うので何事にも全力で頑張りたいです。今の1、2年生にこの学年すごいなと言ってもらえるように、憧れられてから卒業したいです。
卒業した後は、高校で新しい生活が始まり、知らない人ばっかりだけど友だちになれるように今までよりも人見知りをなくして積極的に色んな人に話しかけたいです。
受験に受からないと、明るくて、楽しい未来はやってこないと思うけど、約1年間、勉強や部活、体育大会など、最高に良かった、最高にいい思い出になるように全力で1年間頑張りたいです。

私は、3年生になって頑張りたいことは、3つあります。
1つ目は、勉強です。今までに比べてテストの回数が増えるし、受験もあるからです。良い点数を取るためにも、効率よくワークやテスト調べをしようと思います。そして、毎日5分から10分ぐらい復習をしてテスト前に時間を残しておきたいです。
2つ目は、部活です。自己ベストを出して、「3年間でめっちゃ成長できて良かった。」って言えるようにしたいからです。11月ぐらいまでとみんなより長いけど、きっと一瞬で終わってしまうので、毎日の練習を頑張りたいです。大好きな陸上をとても良い形で引退できるようにしたいです。そして、後輩のみんなと同級生のみんなと、たくさん思い出を作りたいです。

3つ目は、家での手伝いです。今まで以上に手伝って日頃の感謝を伝えたいからです。高校生になったら朝早くて、夜遅いし、迷惑をたくさんかけてしまうと思うからです。
この3つをがんばろうと思います。そして、ポジティブという長所を大切にして一年間頑張ろうと思います。短所は直して、長所を伸ばせる、そんな一年にできたら良いなと思います。何でもチャレンジしていこうと思います。

中学校に入学してから3年生になるまでに本当に一瞬の出来事だったなぁと思います。それは楽しいことも苦しいことも含め、毎日が充実していたからです。その充実感は先輩や先生、仲間が私に与えてくれていたのだと思います。
2年生の後期から学校の中心となって動くことが多くなり、生徒会本部役員にもならせてもらいました。しかし、私たちが中心であるとはいえ、どこかで「先輩がいるから大丈夫」という甘えた気持ちになり、先輩の背中を見て行動していたところがありました。先輩が卒業し、改めて先輩の頼もしさを感じるとともに不安にもなりました。でも不安がっているだけでは何も始まりません。私はこれからの一年間、「挑戦」の二文字を大切にしていきたいと思います。新たなことに挑み、自分と戦っていきたいです。そしていつか、先輩に追いつき、先輩をこえていきたいと思います。
今までは充実感を与えてもらう側でしたが、これからは後輩たちに中学校の楽しさ

や伝統を伝え、充実感を与える立場にあると思います。今まで私がしてもらった以上のことを後輩たちにしてあげたいです。そして、卒業式で惜しまれながら卒業できる先輩になりたいです。
どんな場面でも全力で、どんなことにも努力して立ち向かい、その努力が実る一年になればと思っています。

2年生になって

私は、2年生になって、高校とか将来のことについて前より少し考えられるようになりました。今回のテストも春休みに毎日勉強して、何かを続ける意識が高まってきました。
今年から初めて後輩ができたので、1年生の手本となるようなかっこいい先輩になりたいです。部活も頑張って休まないようにして、もっと上手になって、後輩にも優しくしたいと思います。
小学生の頃は、あまり時間を気にしていなかったけど、2年生になって責任感が強くなって、時間を気にして守れるようになりました。ルールや校則も、これからも守っていこうと思います。勉強は長時間集中しないままダラダラやっても意味がないので、1つのことに集中して物事を続けていきたいです。この1年は、「ダラダラしないこと」に気を付けたいと思います。

2年生になって私は、3つ目標をつくりました。
1つ目は先輩らしくあることです。部活動や体育大会、いろいろな行事で、後輩の子たちとかかわることがあります。そのときに、以前のようにだらけていたり、1年生と同じようなレベルだと先輩としてもどうかと思うし、後輩たちから見ても、頼りになる先輩がいたほうが心強いと思うので、私は頼られるような先輩になりたいです。
2つ目は1年生の時に苦手だった教科・科目を得意になれるように頑張ることです。1年生の時は5教科を頑張って副教科はあまりしっかり勉強することができなくて、点数もそんなにいい点数を取ることができなかったので、2年生からは受験もどんどん近づいているし、すべての教科を同じくらい頑張れるようにしたいと思います。
3つ目は人のことを思いやれる人になることと自分の壁を超えることです。新しいクラスになって初めての子もたくさんいる中、学級目標にもある通り、みんなが笑顔で高めあえるクラスになるためには、一人一人がクラスのことを思える人じゃないとダメだと思うので、私は人のことを思える人になりたいです。そして、今年こそ自分の壁を飛び越えれるようになりたいです。例えば、部活ではしんどくても最後までやりきることを目標として取り組んだり、勉強では嫌なことでも最後まで諦めずに取り組めるような人になりたいと思います。2年生は1年生と違うところがたくさんあって、しんどいことや大変なこともたくさんあると思うけど、乗り越えられるように頑張りたいです。

2年生になった時、1年生の入学式のようにわくわくしていました。新しいクラスで、新しい友達と仲良く1年間を過ごせそうです。
2年生では、勉強は1年生の時よりも難しく、覚えることも多くなるけど、授業についていけるように、今までよりも集中して勉強できるようにしたいです。また、1年生の時にあまりできなかった家での勉強をしっかりやって、テスト前に焦らないように頑張りたいです。生活面では忘れ物をしないように気をつけていきたいと思います。
入試や総体に少しずつ近づいているので、勉強も部活も中途半端にならないように頑張っていこうと思います。2年生が後悔で終わらないようにしようと思います。

1年生になって

私は、小学校を卒業して、春休みの終わりごろまではまだ「中学生」という自覚が全然なくて、中学校大丈夫かなという不安な気持ちがありました。中学校は小学校とは全く違うので、「ちゃんとした中学生になれるのかな」とか、「中学校になじめるかな」とかたくさん心配しました。でも、中学校に入ると少しはその不安や心配は飛んで行ったような気がします。もう中学生に仲間入りしたのだから、「心構えをしないといけない」と自分に言い聞かせました。中学生になると雰囲気がガラッと変わるので、自分の心も変わらないといけないと思いました。まだまだ中学生の自覚は足りないかもしれないけれど、これからどんどん成長して立派な中学生になりたいと思います。これからの中学校生活でだんだん中学校になじんでいきたいです。

私は、中学生になって頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、友達を増やすことです。新しい仲間と出会って仲良くできるか不安でしたが、みんな話しかけてくれたり挨拶をしてくれたり、優しい人達ばかりで安心しました。これからは、自分からも声をかけて、もっと色んな人と会話ができるようにしたいです。

2つ目は、体育大会です。体育大会はケーブルテレビで知りました。応援合戦は迫力があり、他の競技の盛り上がりもすごかったです。自分は、特に大縄跳びを楽しみにしています。クラスみんなの気持ちが1つにならないと跳べないので、クラスみんなで協力して良い成績を残したいと思います。

3つ目は、勉強です。教科の数も増えて今まで知らなかった名前のものもありました。授業の難しさも上がっていて不安なところもあります。社会は、地理と歴史に分かれているのでポイントをおさえながら勉強を頑張りたいです。初めてのテストである新入生テストを経験して、復習の大切さを感じました。なので、毎日コツコツ勉強して次の定期テストに備えたいです。積極的に授業を受けて、たくさんの知識を身に付けていきたいです。

短い3年間ですが、たくさんのことを学びたいです。第1に中学校生活を思いっきり楽しむことで成長していきたいと思っています。

2年生集合写真

文化・研修部の皆さんから

新年度を迎えて

前田　正明

今年度2年生に上がった我が家の次男ですが、一年前の入学式の頃は、身長も低く甲高い声ではしゃいでいた児童でした。この一年で身長は10センチ以上伸び、甲高かった声も今は声変わり中の少年になり、普段着ているジャージも7分丈くらいまで小さくなり、見ているこっちが恥ずかしい気持ちになってしまうほどで、息子の成長を嬉しさ7割、寂しさ3割で実感しております。

そして、新年度を迎えて変った事といえば、何かとお世話になっていた2歳年上の先輩方が卒業されたということで、今まで先輩がフォローしてくださって事なきを得ていた事がたくさんあります。例えば、バス通の息子が最寄りのバス停で降りなければならないのに、寝てしまって降りる気配がない時は代わりに降車ボタンを押してくださったり、声を掛けてくださったりと、すごく助けていただきました。

今後は息子が後輩にそういう気配りが出来るようになる事を期待するばかりです。何はともあれ、これからも皆様のご指導を仰ぎながら子供達が成長していくのを見守っていきたいと思います。

新年度を迎えて

藤原　三千代

新型コロナウイルスが世界的に蔓延した2020年は、こどもが中学3年生、中学2年生、小学5年生にあがるときでした。緊急事態宣言が出されたり、マスクを買いに並んだりと、我々の生活は一変しました。当たり前にいっていた学校に行けなくなり、今まで当たり前に行われていた行事や部活動の発表の場が失われ、体育大会や卒業式までもが制限を強いられました。最後のコンクールが中止となり涙する子どもに対して、何もしてあげられない事に悔しい気持ちでいっぱいだったことが思い出されます。子どもたちの心の動揺や、やるせない気持ちを考えますと、大変心を痛めた3年間でした。我々何十年も生きてきた大人にとっての3年間と、まだ十数年しか生きていない子どもたちにとっての青春まっただ中の3年間は意味合いが違ってくるでしょう。友達と自由に楽しくおしゃべりしながら学び、遊び、という当たり前のことが当たり前にできなかったこの3年間。多くのことを我慢し、堅苦しい時代でした。そんな中でも子どもたちは下を向くことなく、様々なことを自分たちで考え話し合い、やれる限りのことをして成長を見せてくれた3年間でした。コロナ禍でも、いつも子どもたちの安全を考え、最善の方法をとってくださった先生方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そんな新型コロナウイルスも5類感染症へと移行し、我々の日常も大分元に戻ってきたように思います。新学年へと進級し、新しいクラス、新しい担任の先生となり、これから行われる様々な学校行事に親子共々ワクワクしています。今まで我慢してきた分、思いっきり楽しい学校生活を送ってくれることが親としての望みです。親として何ができるか分かりませんが、子どもの成長を見守り、頑張っていることを応援し、子どもと一緒に過ごせることに感謝しながら日々過ごしていきたいなと思います。

元気に過ごせるありがたさ

坂本　真麻

　息子が中学校に入学し、早いもので三年目を迎えました。大きな制服で真新しい自転車に乗り、友達と楽しそうに登校していった入学式の日の事がまるで昨日のことのように思い出されます。
　そんな息子が入学時に立てた目標が、三年間休まず学校に行く事です。私は目標を聞いたとき、勉強や部活の目標じゃないの？と思わず笑ってしまいましたが、息子の決意は強く、絶対に休みたくないと自分なりに体調管理を心掛け、気付けば一度も休むことなく三年生になりました。
　当初は笑ってしまった息子の目標ですが、今は毎日元気に学校に通えているという事が親としてとても嬉しく思います。そして休まず通いたいと思える学校生活が送れているのは、たくさんの友達や見守ってくださる先生方のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。
　中学校生活最後の一年、勉強に行事に部活動に全力で取り組み、充実した日々を元気に過ごして欲しいと思います。

◇◆◇　寄稿してくださった皆さま、ご協力ありがとうございました。◇◆◇

3年1組

3年2組

3年3組